



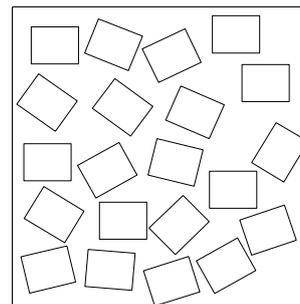
そこで、本単元では、次の3つの視点を大切にします。

①学級の一日のめあてにもあがる「外で遊ぶ」ことを目的とし、それに応じた資料を考える。

久しぶりに晴れ渡った5月のある日、いつも通り朝の会が行われ、日直から「今日のめあて」が発表された。それが、「天気がよいので、できるだけ外で遊ぶ。」である。その後、どうして外で遊ぶことが大切か話し合った。「元気に過ごす。」「体力をつける。」などという意見が出される中で「いつも元気。」という学級のめあてにたどり着いた。そこで、外で遊ぶことは、学級のめあてとも関わり大切なことだと学級全体で納得した。では、そのために、呼びかけたりすることも必要だが、「実際に休憩時間にどこで活動しているか調べてみよう。」という考えのもと、この単元の資料となってきた。

②分かりにくい資料から、「問い」を引き出し、その解決に向け主体的に学び合う場面をつくる。

分かりやすく分類整理しようとするための前提として、分かりにくい資料が必要となる。自分たちが休憩時間にいた場所を一人ひとりがカードに書くことで、資料の数は32枚となる。このカードを規則正しくおくのではなく、ばらばらにおくことで一層分かりにくくする。



また、曜日ごとに休憩時間にいた場所の分かりやすく分類整理された表を見ながら一週間の合計を考える場面では、分かりやすく整理したために、それぞれの表の場所の並び方が違っていたり、天候によってその場所に偏りがあつたりするために、それらを見渡して合計を求めることは、かなり難しい。

5月30日(月)		5月31日(火)		6月1日(水)		6月2日(木)		6月3日(金)		〔休けい時間〕にいた場所						
場所	人数	場所	人数	場所	人数	場所	人数	場所	人数		月	火	水	木	金	合計
校庭	20	教室	13	校庭	15	校庭	24	校庭	10	校庭	20	0	15	24	10	69
中庭	8	図書室	12	中庭	10	教室	5	中庭	10	中庭	8	0	10	1	10	29
教室	2	ろう下	5	音楽室	4	音楽室	1	音楽室	5	教室	2	13	1	5	5	26
ろう下	1	集会室	1	ろう下	2	ろう下	1	教室	5	音楽室	0	0	4	1	5	10
図書室	1	体育館	1	教室	1	中庭	1	ろう下	2	ろう下	1	5	2	1	2	11
										図書室	1	12	0	0	0	13
										集会室	0	1	0	0	0	1
										体育館	0	1	0	0	0	1
										合計	32	32	32	32	32	160

「どうしたら分かりやすくなるのだろうか?」という問いをもとに、例えば右の表のようなつなぎ合わさった表を創り出す。

③分かりやすく分類整理された表やグラフからその特徴を読み取る場面を大切にします。

目的に応じた資料を集め、その目的のために分かりやすく分類整理したのだから、その特徴を読み取る時も、目的に沿った読み取りになることは、大切なことである。本単元では、「休憩時間の学級の場所に関わっての様子」を調べるために分類整理したので、「どこの場所が多いのか」ということがまず明らかにしていくこととなる。しかし、「外で遊ぶ」という目的につなげると、「外」と「内」という新しい分類の必要性を感じたり、「雨の日は外で遊べない」という理由から、雨の日を除外して考えたりする活動が期待できる。できた表やグラフを目的に応じて読み取ることで、その目的にあった表やグラフを追求していく活動となる。

(3) 以上のことをもとに、本単元では次の2点を重視して授業を展開する。

①自分たちの考えを伝え合い、様々な考えや方法を比較し、よりよいものを考え出す学び合いの場面を通して、自分自身でそれを理解し自分の力で選択してよりよいものを創る力を育てる。

②自分の考えと友だちの考えをつなぐ表現を認める教師のはたらきかけ(わかりにくかったときと比べ、わかりやすくなったこと→「~だったのに、~でわかりやすい。」)や、子ども同士の考えをつなぐ教師のはたらきかけ、「それがめあてとどう関係するの?」(根拠)「似ているところ」「違うところ」(共通性・相違性)「この考えのわかりやすい点はどんなところか」(発展性)を中心に大切にする。

①②を重視して展開した授業において、子どもたち一人ひとりの思考力・判断力・表現力が育ち、高

まっていかなければならない。そこで、学び合っている場面での子どもたちの発言や記述を大切にすると共に、一人ひとりのそれに関わるとらえを評価規準を基に行い、その変容をとらえていきたい。

本時は第2次の2時間目である。子どもたちは、前時に曜日別に分類整理した表から、一週間の合計を求めるようにしたときに、表に並んでいる順番も違うし、一日一日の表が放れているし、いろんな場所が出て生きているので、「合計を求めにくいなあ。」という思いがわき、「わかりやすく表す方法はないうだろうか。」という問いを自分たちでもった。そして、一人ひとりが曜日ごとの数もわかり、なおかつ一週間の合計もわかりやすく求めるにはどうしたらよいかを考え、表やグラフを作っている。

本時は、一人ひとりが作った表から、一つを取り上げ、そのよさや課題を見つけ出す活動をまず行う。子どもが考えたものを、そのまま使うことで、その子の思いも全体に伝わると考え、前時に模造紙にマジックで作っている。

その表を眺めたとき、子どもたちは、「ばらばらのときよりは求めやすくなった。」という思いを強くもつ。だが、「わたしたちのクラスは、本当に外で遊ぶ人が多いのだろうか。」ということに関わって考え出すと、「雨の日はぬかした方がいいのではないか。」とか、「外と中に分ければいいのではないか。」とかいう考えが出てくる。そのような意見を根拠をもって深め合う学び合いを大切にすることで、さらに目的に沿った表を作るための視点が明確になる。その視点で特に大切にしたいことを自分自身で判断しながら、よりよい表作りを一人ひとりが考える。

### 3 展開計画（全8時間 本時5／8か6／8）

次	主な学習	時	具体的な学習・内容（◇印は、学級全体の学び合いの場面）
1	20分休けいのときにいる場所をわかりやすく整理しよう。	1 2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく整理する方法を考える</li> <li>◇友だちの考えをもとに、自分の考えを伝え合い、よりわかりやすい方法を創り出す。</li> <li>・棒グラフでの表し方を知る。</li> <li>・1目盛りの単位がいくらか考える。</li> <li>・目盛りに気をつけながら、自分の力で棒グラフをつくる。</li> </ul>
2	一週間の結果を表す、わかりやすい方法を考えよう。	5 ⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ばらばらの表から、困ることを発表する。</li> <li>・ばらばらの表を、わかりやすくする方法を一人ひとりが考える。</li> <li>◇わかりやすく整理された表やグラフから、わかることやもっとよくなる考えを伝え合う。そして、考えを伝え合い、目的に沿ったわかりやすい方法を創り出す。</li> </ul>
3	2種類の資料から、わかることを見つけ、両方を比べてみるよさを考えよう。	7 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇についての2つの棒グラフから、わかることを見つけ合う。</li> <li>・身近にある資料から、そのよさやもっとよくする方法を見つけ合う。</li> </ul>

### 4 「学び合い」による思考力・判断力・表現力の評価

次	時	学習活動	学習活動における具体的な評価規準	評価資料	評価基準		
					A	B	C
1	1	◇友だちの考えをもとに、自分の考えを伝え合い、よりわかりやすい方法を創り出す。	どの場所に何人いるかわかりやすく整理する方法を友だちの意見と関わらせながら考えたり表現したりしている。	発言 ノート	どの場所に一番多いかわかるように表やグラフを工夫している。	ばらばらな資料を表やグラフに整理できている。	場所と数以外の観点で整理したり、整理の仕方がわからなかったりしている。
2	6	◇自分の考えを伝え合い、わかりやすい方法を創り出す。	「外で遊ぶ人が多いのか」ということが分かるように整理する方法を、友だちの意見と関わらせながら考えたり表現したりしている。	発言 ノート	曜日ごとの表をまとめた表を元に伝え合ったこと以上の考えで、目的に沿った表やグラフを創り出している。	曜日ごとの表をまとめた表を元に伝え合ったことを通して、さらに目的に沿った表を創り出している。	始めの表よりもより分かりやすい表を思いついていない。

## 5 本時の学習

### (1) ねらい

休憩時間に過ごす場所と人数の一週間の合計の人数を表した表から目的に沿って考え合い、さらにそこから課題を見つけ、より目的に沿った分類整理する方法を自分なりに考えることができる。

### (2) 展開

学習場面と子どもの取り組み		教師の支援と願い・評価 (◎は学び合いのためのはたらきかけ)																																																																					
<p>1 前時に考え出した〇〇さんの表を見て、分かりやすくなっているところを発表する。</p> <p>) [休けい時間にいた場所]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校庭</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>24</td> <td>10</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>中庭</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>教室</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>音楽室</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>ろう下</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>図書室</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>集会室</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>160</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>ばらばらだったのに、表がつながって、見やすくなった。</li> <li>場所がまとまって合計がすぐ分かる。</li> </ul>		月	火	水	木	金	合計	校庭	20	0	15	24	10	69	中庭	8	0	10	1	10	29	教室	2	13	1	5	5	26	音楽室	0	0	4	1	5	10	ろう下	1	5	2	1	2	11	図書室	1	12	0	0	0	13	集会室	0	1	0	0	0	1	体育館	0	0	1	0	0	1	合計	32	32	32	32	32	160	<p>◎前時に作った〇〇の表を黒板の中央に掲示することで、本時がこの表を中心に話し合うことを意識づける。</p> <p>◎雨の日や場所をそのまま入れている表を取り上げる。</p> <p>・ただ分かりやすくなったことのみを発言しているときは、「～だったのに、～でわかりやすい。」というようにのように、わかりにくかったときと比べた発言になるようにうながし、よりよいものになっていることを明確にする。</p>
	月	火	水	木	金	合計																																																																	
校庭	20	0	15	24	10	69																																																																	
中庭	8	0	10	1	10	29																																																																	
教室	2	13	1	5	5	26																																																																	
音楽室	0	0	4	1	5	10																																																																	
ろう下	1	5	2	1	2	11																																																																	
図書室	1	12	0	0	0	13																																																																	
集会室	0	1	0	0	0	1																																																																	
体育館	0	0	1	0	0	1																																																																	
合計	32	32	32	32	32	160																																																																	
<p>2 めあてを思い出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>3の1は「外で遊ぶ人」は、多いのでしょうか。</p> </div>																																																																							
<p>3 友だちの考えと関わらせながら、自分の考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>火曜日が外で遊んでいない。</li> <li>それは、雨だったから仕方がない。</li> <li>でも、そしたら外で遊ぶ人が多いかどうか分からないから、表からなくした方がいいと思う。</li> <li>校庭と中庭は、どちらも「外」だからまとめればいい。</li> <li>だとしたら、その他は全部中だから、「中」でまとめればいい。</li> </ul>	<p>・発言内容と表とが一致するような場所に、子どもの発言を板書する。</p> <p>◎事実とその背景をつなぐ言葉として、「それがめあてとどう関係するの」(根拠)や「では、こちらはどうか」(相違性)を投げかける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">観点の評価 (数学的な考え方)</p> <p>曜日ごとの表を一つにまとめた表をもとに話し合ったことを通して、さらに目的に沿った表を考え出している。</p> <p style="text-align: right;">【評価方法 発言・ノート】</p> <p>支援</p> <p>取り入れたい考えを尋ね、修正する部分を一緒に見つける。</p> </div>																																																																						
<p>4 考えを伝え合った結果から自分で取り入れたい考えを選び、よりよい表をもう一度自分で考える。</p> <p>) [休けい時間にいた場所]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校庭</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>24</td> <td>10</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>中庭</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>教室</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>音楽室</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>ろう下</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>図書室</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>128</td> </tr> </tbody> </table>		月	水	木	金	合計	校庭	20	15	24	10	69	中庭	8	10	1	10	29	教室	2	1	5	5	13	音楽室	0	4	1	5	10	ろう下	1	2	1	2	6	図書室	1	0	0	0	1	合計	32	32	32	32	128	<p>・自分の考えを素直に素早く表せるよう、今回はノートにかくように伝える。</p> <p>・できた表を見て、「外で遊ぶ」という目的について、どう考えるか伝える。</p>																						
	月	水	木	金	合計																																																																		
校庭	20	15	24	10	69																																																																		
中庭	8	10	1	10	29																																																																		
教室	2	1	5	5	13																																																																		
音楽室	0	4	1	5	10																																																																		
ろう下	1	2	1	2	6																																																																		
図書室	1	0	0	0	1																																																																		
合計	32	32	32	32	128																																																																		
<p>5 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「外」と「中」にわけるとよく分かる。</li> <li>「外」で遊ぶ人が多いとはっきりした。</li> <li>グラフに表すとどうなるのかな。</li> </ul>	<p>・学び合いを通して、考えたことや疑問に思ったこと、やってみたくなったことをノートに書くよう伝える。</p>																																																																						